

令和5年度 長野養護学校グランドデザイン

本校の教育方針

『すべての子どもの人権が尊重され、子どもが主体となる教育をすすめる』

学校職員の願い

「あなた（わたし）はあなた（わたし）のまま
でいいんだよ」が伝わる学校に。
自己肯定感：皆の中で自分の存在の確認
○自分を大事にすることは人を大事にすること。
○「ああしたい」「こうしたい」を本物に。
『らしさ』の実現＝『生活・授業』づくり

令和5年度特別支援学校重点項目

- 重点1 すべての児童生徒に対し、一人ひとりのニーズに応じた教育を提供
- 重点2 特別支援学校の専門性の向上
- 重点3 地域や企業の方との協働の学びの充実
- 重点4 地元の同世代の友との交流及び共同学習の充実
- 重点5 幼保小中高等学校における特別支援教育の対応力の向上を支援

<その他の取組>

- ・防災、安全、危機管理体制の充実
- ・教職員の働き方改革の推進
- ・寄宿舎の支援力向上

長野県の特別支援学校において実現すべき学びの姿

- 児童生徒の可能性が最大限伸びる学び
- 共生社会の実現に向けた協働の学び

第3次長野県特別支援教育推進計画における基本目標

すべての子どもが持てる力を最大限に発揮し、共に学び合うインクルーシブな教育

学校教育目標

自分から 自分で めいっぱい



めざす学校

- 1 すべての職員が子どもの人権を大切にした教育実践をすすめる学校
- 2 子どもの姿、成長をもとに保護者と話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校
- 3 関係機関や地域の方々と連携した学校作りを推進する学校
- 4 長野地域における特別支援学校としての役割を明確にし、他校と連携し特別支援教育を推進する学校

子どもの姿や思いから出発する教育

I 子どもの人権を大切にした教育の追究

- 社会参加する上で大切な「本人による本人のための権利擁護の意識」（子どもが主体となる教育）の支援＝「自分から 自分で」

II 学校生活づくり・個に応じた授業改善の追究

<各教科等を合わせた指導（遊びの指導、生活単元学習及び作業学習等）を中核とした「生活づくり」>
<専門性に根差したチームによる支援>

- 個に応じた「個別の指導計画」の作成・活用・修正（子どもの可能性を広げる支援）＝「めいっぱい」
- 子どもの願い実現を目指す「遊びの指導・生活単元学習・作業学習」中心の教育課程の追究
- 各教科等との関連を示した年間の授業計画（シラバス）の作成と運用（目標設定、評価）
- ICT機器を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進
- 専門性サポートチームを中核とした、専門性に根差した児童生徒支援の追究
- 特別支援教育専門職として資質・能力の向上のため学び続ける教師のあり方の追究
- 子どもの将来を見据えた「地域」とつながる交流及び共同学習の推進
- 生活の質を高め自立する力を育てる寄宿舎の生活づくりの追究

III 児童生徒に優しい、安心安全の学校生活づくりの追究

- 安全で安心な学習環境の整備
- 「やさしく、利用しやすい」生活環境の整備
- 子どもにとって見通しがもちやすくなる支援（手だて・手順等）の追究
- 安全防災教育の推進と地域と共同した安全体制の構築

IV 校外との連携が充実し、特別支援教育のセンター的機能発揮の追究

- 長野養護学校関係者会議の連携の充実と校内支援会議の充実（各部コーディネーター機能）
- 地域の教育相談機能の充実（相談センターの活用と自立活動担当教員による巡回相談支援）
- 個別の教育支援計画（連携ツール）、キャリアパスポートの活用の工夫

